

一 般 質 問 要 綱

令和3年第7回9月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	13	齋藤 仁一	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の市内と福島県の実態をどう認識しているのか。また、その対策について伺いたい。</p> <p>(2) ワクチン接種の進捗状況及び今後の見通しについて伺いたい。</p> <p>(3) 新型コロナ感染防止の観点から、PCR検査の拡充、小中学校及び放課後児童クラブでの市の対策について伺いたい。</p> <p>(4) 医療体制、特に臨時医療施設の設置、抗体カクテル療法などの体制整備に取り組むべきと考えるが、市の対応について伺いたい。</p> <p>(5) 新型コロナウイルスワクチン接種に関わる職員等の休日勤務及び休日取得実態について伺いたい。</p> <p>2 気候危機について</p> <p>(1) カーボンニュートラル宣言に至る背景と市が取り組む理由は何か、また、今後の具体的な取組をどうするのか伺いたい。</p> <p>(2) 喜多方市環境基本計画に示された中間年次であるが、その見直しについて審議会等での議論の内容と市の対応について伺いたい。</p> <p>(3) 「気候非常事態宣言」にも取り組むべきと考えるが、市の対応について伺いたい。</p> <p>3 災害情報連携システム再構築事業について</p> <p>(1) この事業は、今年度及び来年度の2年間で実施する予定であるが、その進捗状況はどうなっているのか伺いたい。</p> <p>(2) 再構築事業に関して、以前の事業関係者との間における補償問題は怎么样了のか伺いたい。</p> <p>(3) 防災行政無線の受信機など機械等の不具合で配備されていない家庭等への伝達はどのようにしているのか伺いたい。</p>
2	19	後藤 誠司	<p>1 有害獣被害対策について</p> <p>(1) 今年度のツキノワグマ、ニホンザル、イノシシの旧市町村ごとの出没数と捕獲数を伺います。また、市全体の過去3年間の出没数と捕獲数も伺います。</p> <p>(2) 今年度のツキノワグマ、ニホンザル、イノシシの旧市町村ごとの農作物被害面積と被害金額を伺います。また、市全体の過去3年間の農作物被害面積と被害金額も伺います。</p> <p>(3) 電気柵について</p> <p>ア 電気柵購入支援事業補助金の進捗について伺います。</p> <p>イ 今年度の電気柵貸出状況について伺います。</p> <p>(4) 未利用果樹等伐採事業補助金の申請状況について伺います。</p> <p>(5) 鳥獣被害対策実施隊の地区ごとの人数及びわな免許のみの人数について伺います。</p> <p>2 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>新型コロナウイルス感染症は、変異株（デルタ株）の猛威により、第5波の感染が拡大しております。そこで、対策の切り札ともいべきワクチン接種について伺います。</p> <p>(1) 本市のワクチン接種実施状況を伺います。医療従事者、高齢者、</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>その他の一般接種者について、1回目、2回目の接種件数と対象者に対する割合について伺います。</p> <p>(2) 把握されている主な副反応と件数を伺います。</p> <p>(3) 65歳未満の一般接種について</p> <p>ア 接種券の発送状況について伺います。</p> <p>イ 予約状況について伺います。</p> <p>ウ ワクチンの確保状況と確保見込みについて伺います。</p> <p>(4) 国では、追加の3回目接種の検討に入ったとの報道がありましたが、市の見解を伺います。</p>
3	17	齋藤勘一郎	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 遠藤市長は、平成30年2月に就任し、市政運営の基本理念として、真の公平さの追求、地域力を最大限に活かす、国・県との連携を広げる等を掲げ、この基本理念を実行していくために、オール市民でのまちづくりを基本とし、市民一人ひとりの声や提言に真摯に耳を傾け市政に反映するとし、具体的には、市総合計画を政策の軸に据え、子育て支援や産業振興に最優先に取り組み、若者が定住し安心して生み、育て、働き続けられる環境作りを進め、子供からお年寄りまで全ての市民の皆さんが笑顔あふれ「夢と希望の持てるふるさと喜多方」「わくわくする喜多方」の創造に誠心誠意努力されてきたことと思います。市長は、これまでの4年間の市政運営をどのように総括しておられるのか伺います。</p> <p>(2) その総括を踏まえて、来年執行される次期市長選挙についてどのように決意されますか伺います。</p> <p>2 道路・河川整備について</p> <p>道路整備については、通勤・通学、物流の輸送、産業振興、観光交流の促進等々様々な役割、効果が期待でき、地域の発展のためにも大変重要な要素です。河川の整備については、集中豪雨の際の洪水被害防止、災害の軽減等市民生活の安全・安心に通ずるものです。そのような観点から以下について伺います。</p> <p>(1) 主要地方道喜多方西会津線（慶徳峠）小舟寺工区の改良整備の進捗状況と開通の見通しについて</p> <p>(2) 県道熱塩加納山都西会津線一ノ木工区の改良整備の進捗状況と開通の見通しについて</p> <p>(3) 国道459号線堂山舟引工区の改良整備の進捗状況及び用地交渉の経過と開通の見通しについて</p> <p>(4) 一ノ戸川の河川整備（宮古川との合流地点より上流の整備計画）の今後の工事計画及び用地交渉の経過について</p>
4	12	長澤勝幸	<p>1 小中学校適正規模適正配置実施計画に基づく審議経過について</p> <p>(1) 実施計画に基づく進捗状況について</p> <p>ア シミュレーションに基づき審議会等で、複数パターンから絞り込み、具体的な案に反映するとしているが、各地区での説明会を行うに当たりどのように審議され、どこまで進んでいるのか。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>イ 市議会への報告・審議会等の承認を踏まえ、10月以降の地域説明会を行う実施計画（素案）の作成は順調に進められているのか。また、今後のスケジュールの遅れはどの程度を見込んでいるのか。</p> <p>(2) 小規模特認校制度導入について</p> <p>ア 小規模特認校制度の定義と本市における小規模特認校制度導入に対する基本的考え方はどういったものか。</p> <p>イ 上三宮地区行政区長と意見交換が行われ、3つの案が示された。1つ目は、実施計画案の中で検討すること。2つ目は、学校を存続させて小規模特認校制度を検討すること。3つ目は、実施計画の決定を待たずに統合を検討することである。重要な提案をするにあたり、3点に絞り提案した理由は何か。併せて審議経過を伺う。</p> <p>ウ 上三宮小学校で小規模特認校制度導入を検討すると示されたが、具体的にどういったことを検討するのか。また、その理由に「保護者からの要望が多数あった」としているが、他の地域でも同様の要望が多数あった場合、検討することになるのか。</p> <p>エ 上三宮小学校への対応について「早期に結論を出す必要がある」とする方針・考えはどうなるのか。また、予定されている令和4年度開始の考え方はどのようになるのか。</p>
			<p>2 身近な行政課題解決に向けた対応について</p> <p>(1) 押切川公園体育館東の人工水路（せせらぎ水路）の有効活用整備について</p> <p>ア 昨年の答弁では、水路の再利用・維持管理コスト、歩行者等による利用状況を踏まえた検討による結果、水路を埋めて歩道利用者の安全確保や体育館利用者のウォーミングアップスペースとして有効活用するとしている。今後、具体的にどう進めるのか。</p> <p>イ また、歩行者の安全を図るために、一部開渠部へ床版や誘導案内板を設置するとしていたが、現状は、全く対応が取られていない。どういった理由か。また、今後の対策をどう進めるのか。</p> <p>(2) パワフルマスターを活用した住宅地における水路の環境整備について</p> <p>ア まちなかの環境整備は重要である。先の答弁では、パワフルマスターの積極的な利用を推進するとしているが、課題整理と合わせどう進めるのか。</p> <p>イ 水路汚泥の直接搬入について、地元・羽山処分場を管理する広域市町村圏との協議を進めるとしていたが、結果はどうであったのか。</p> <p>ウ 課題を整理するとしていたが、どのような検討がされてきたのか。また、行政区、住民の協力が不可欠だが、理解と周知をどのように進めるのか。</p> <p>(3) 新型コロナワクチン副反応への対応、治療薬の見通しについて</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>ア ウイズコロナとして、長期的な戦いが続く中で治療薬への期待も高い。7月に承認された軽症者の重症化を防ぐための「抗体カクテル療法」とまだ治療薬として承認されていないが同様の効果が期待できるイベルメクチンの効果についても報道されている。国の取組の現状認識と医師会等と連携し、国に対して積極的な働きかけが必要と考えるがどうか。</p> <p>イ 64歳以下の市民への接種が開始される。副反応の症状が多く発生すると想定される。65歳以上の接種の中で副反応の実数・症状はどの程度であったか。また、対応は適切であったのか。</p> <p>(4) 日中線記念自転車歩行者道におけるソーラー充電式のセンサーライトが機能していない。市民の憩いのスペースとして防犯上の観点からしても今後の整備をどのように考えているのか。</p>
5	2	小澤 誠	<p>1 喜多方市の地域政策について</p> <p>この度のコロナ・パンデミックは、保健所を始めとする公共部門の削減や縮小と併せて、東京一極集中の危険性や、人間のいのちと健康、普通の生活の大切さを教えてくれたと思います。</p> <p>このような時に「喜多方市過疎地域持続的発展計画」（以下「計画」）という地域政策が発表されました。私は、地域政策で今、重要なことは、大都市地域、農山村地域を問わず、「住民が主人公」であり、住民の暮らしの向上が実現し、地方自治体の役割が発揮されることだと思います。そこでお尋ねいたします。</p> <p>(1) 「計画」では「地域の持続的発展」とありますが、これは従来いわれていた「地域の活性化」とどこがちがうのか。さらに、持続的発展の中身を具体的に示してください。</p> <p>(2) 私は、地域の持続的発展のためには地域経済の拡大再生産が必要だと思うが、どのようにつくっていくのか。</p> <p>(3) 地域の持続的発展のために、自治体はどのような役割を果たせるのか。</p> <p>2 「喜多方市一般廃棄物処理計画」（平29～38年度）について</p> <p>この「計画」は、喜多方市総合計画を環境の面から推進するものとして、平成29年3月に策定しました。この中では「人と自然が共生できる地球にやさしいまち喜多方」の実現に向け、廃棄物対策や資源の循環的利用などに関する市・事業者・市民の協働による取組を示しています。これに関わって以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 喜多方市の令和2年度のゴミ総排出量はどのくらいになっているのか。一人一日当たりの排出量はどのくらいか。計画に達成目標はないのか。</p> <p>(2) 近年、全国的には総排出量が減少傾向にあり、その最大の要因は人口減であると言われていています。喜多方市は人口が減っているのになぜゴミが減らないのか。</p> <p>(3) 「3R活動」とは何か。具体的にどのようなことを行っているのか。プラスチックごみの削減を例に説明してください。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
6	21	山 口 和 男	<p>1 昭和電工株式会社喜多方事業所敷地内における有害物質と地下水の水質検査について</p> <p>このことについては、令和2年12月定例会でも質問しましたが、今回は以下の点について伺います。</p> <p>(1) 令和3年7月14日付けで、県会津地方振興局県民環境部から地下水調査結果が発表されました。この調査結果を見ると、事業所敷地境界から250mの範囲よりも、それを超える範囲で、基準超過井戸数が多く見られるのが明らかになりました。これが何を意味するのか、専門家の科学的な説明を求めます。</p> <p>(2) また、このことは、遮水壁を作る段階の事業所の説明で「250mに区切って水質検査をします」と言ったことに対し、矛盾を生じさせるのではないかと考えますが、いかがか伺います。</p> <p>(3) 水流は南南西に流れるとの説明がありましたが、実際にはその方向には流れず、南南東、南東方向に流れていて、高吉、綾金泉地区に基準値超過が多くみられ、最初から水の流れについて、見込み違いをしていたと思えてなりません。そうであるなら、事業所の説明は全てにおいて信憑性に欠け、住民は事業所不信に陥ります。このことをどのように捉えていますか伺います。</p> <p>(4) 基準値超過について、250mの範囲内で12世帯、250mを超える範囲で35世帯の47世帯となり、基準値内には収まりましたが、不安を抱える住民の要求や要請にどう対処しようとしているのか具体的に伺います。</p> <p>また、要求や要請をしても、事業所との合意が未だ得られない件数を伺います。</p> <p>(5) 遮水壁完成まで、これから約3年かかると言われていますが、その後の安全は確保できるのか伺います。</p> <p>(6) 対策を強化しても根本の有害物質を除去しなければ、また同じ過ちを繰り返すことになりはしないかとの問いには、長期的に対応するとの返答ですが、もう少し具体的に伺います。</p> <p>2 新型コロナのワクチン接種と副反応への対応について</p> <p>新型コロナの感染は猛威を奮い、第5波への対応は緊急を要します。オリンピック開催の中、お盆と夏休みが重なり、県内でもデルタ株が増え始め、生活と命が脅かされています。</p> <p>一方、政府は首都圏等に緊急事態宣言を発してはいますが、さほど効果もみられず、このままでは医療崩壊を引き起こしつつあるので、新たに首相の強いメッセージがほしいとの専門家や国民の意見は首相へは届いているようには感じられません。時間が経てば経つほど、8月13日時点で20,000人強の過去最多の感染者と、重傷者は1,500人ほど、死者は25人確認され、制御不能であると言われ、専門家の意見を聞いてから判断をしますとの首相始め関係閣僚の今までの対応は何であったのか、これをみると政府の無政策に怒りが込み上げます。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>その上、8月2日には医療提供体制に関する閣僚会議で、入院対象を重傷者らに限定する方針を打ち出し、今までの中等症以上が原則入院だったものを、基本的に自宅療養に改悪するに至っては、国民の命を守ると言う政府の対策は、万策が尽きたと自ら認めたものであり、政権担当資格なしと言わざるを得ません。</p> <p>福井県では、自宅療養政策を取らず、体育館に100床のベッドをつくり、そこで治療する医療機能の強化策を取り入れて注目されています。このような方法を各自治体が取れば、自宅療養を抑え、陽性者を救う手立てになるはずで、厚労省の発表によれば1月から6月までの半年で、自宅療養者の84人が亡くなったとの報道がありましたが、これは自宅療養がいかに危険と隣合わせであるかを物語っています。</p> <p>このことから、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 1月から8月までの月別感染者、重傷者、死者、完治した方はそれぞれ何人ですか。</p> <p>また、現時点において入院、宿泊施設療養、自宅療養している方のそれぞれの人数を伺います。</p> <p>(2) 「基礎自治体の長として現状を把握できなければ対策も打てない」と考えますので、発表については、県との関係の見直し、入院対象は重傷者に限定する方針の撤回と福井県方式の喜多方版の具体策を求め、市長の見解を伺います。</p> <p>(3) ワクチン接種で高齢者の重症化は減っていると言われますが、20代から40代、50代の若年層の感染が多いとの報道がある中で、本市の高齢者接種は7月で終了したと理解してよろしいか伺います。</p> <p>また、65歳未満の方で基礎疾患を有している方の770名の接種も終了しましたか伺います。</p> <p>(4) 医療従事者の接種は当然済んでいるのであれば、いよいよ若い方です。12歳からの若い方の接種のスケジュールとワクチン不足は心配ないか伺います。</p> <p>また、若い方の優先順位も設定したのですか、設定したのならば優先順位とその根拠を伺います。</p> <p>(5) 7月末にワクチン209バイアル、1,254回分が廃棄されましたが、その理由と管理の仕方に瑕疵はなかったのか伺います。</p> <p>(6) 首相は、希望者全員のワクチン接種は11月には終了すると言いますが、ワクチン不足が心配される中で具体的にワクチンの供給数量の確約が得られなければ、webでの予約と言っても予定が立てられないのではと心配になりますが、本当に大丈夫でしょうか伺います。</p> <p>(7) 政府は、療養中の健康観察を強化、パルスオキシメーターの配布や往診の診療報酬を手厚くするほか、医療機関に空きベッドの確保の対策を要請するなどの対策を進めています。ワクチンの副反応について、現在までの発生件数と症状を伺います。</p> <p>(8) 市の予防接種健康被害調査委員会設置要綱では、第3条組織の項</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>で、健康被害発生後速やかに市長が委員を委嘱するとありますが、これでは遅いし、接種と同時に設置をしなければ救済は遅れてしまい、被害者に多大なご迷惑をおかけしますので、健康被害救済制度を活用して素早く救済してください。これができなければ、今後の接種希望者にも悪影響を与えかねません。このことについて、伺います。</p> <p>3 国家公務員法等の改正について このことについては、先の国会で成立し、定年の段階的引き上げが始まります。その概要、地方公務員との関連とそれがどのように波及していくのか、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 定年の段階的引き上げについて (2) 役職定年制の導入について (3) 60歳に達した職員の給与について (4) 高齢期における多様な職業生活支援の設計について</p>
7	3	山口文章	<p>1 ドローンを活用した取組について ドローン（小型無人航空機）は、これまで主に空撮、さらには個人の趣味として使われていましたが、その状況は大きく変化しています。安全・安心な運用を実現するためのルール整備も着実に進み、産業利活用へ向けた取組が全国の自治体や企業で進められています。ドローンの利活用で広がる可能性は、様々な地域課題を抱える地方自治体が、現在注目しています。中山間地域におけるドローンを活用した物流、災害救助や獣害対策など、色々な利活用が検討、実施されている中、本市の取組について伺います。</p> <p>(1) 市のドローン活用について ア 現在のドローン活用実績について伺います。また、今後活用を検討している事業について伺います。 イ ドローン導入に対する課題について伺います。</p> <p>(2) 市内企業のドローン事業参入について ア 事業としてドローンを活用している企業数について伺います。 イ どのような産業でドローンを活用しているのか伺います。 ウ 補助金など、市としての支援事業について伺います。</p> <p>(3) ドローンフィールド整備について 各自治体や民間では、ドローンの屋内外の練習場所として整備しているが、本市の考えについて伺います。</p> <p>(4) 今後の市の取組について 本市の新たな産業として、今後期待されると思うが、考えについて伺います。</p> <p>2 通学路安全対策について 6月28日に千葉県八街市で児童5人が死傷する痛ましい事故が発生しました。通学路における交通安全を脅かす交通事故が後を絶えないことから、警察庁、文部科学省、国土交通省が連携して対応策を検討し、この結果、教育委員会、学校が主体となって警察と道路管理者</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>と連携して、通学路における合同点検を実施することとなりました。</p> <p>本市では、4月に各小学校での通学路点検を行い、危険個所の報告があった場所については、通学路安全推進会議で検討し対応していますが、合同点検について2点伺います。</p> <p>(1) 合同点検について、本市の対応について伺います。</p> <p>(2) 本市の登下校時の保護活動の実施について伺います。</p> <p>3 コロナウイルス感染症について</p> <p>本市では、8月下旬から64歳以下のワクチン接種が個別・集団接種の併用により開始されました。現在の市内感染状況として、10歳未満・10代のコロナ感染が増えています。現在始まっているワクチン接種の現状と課題について伺います。</p> <p>(1) 市内の12歳～18歳までの接種について伺います。</p> <p>ア 市で把握できている期日までの予約状況について伺います。</p> <p>イ 安心・安全に接種できるように相談所等の設置について伺います。</p> <p>(2) 今回の予約方法（web）で、何か問題などあったか伺います。</p>
8	20	佐原正秀	<p>1 多様な人材が活躍できる行政の組織とテクノロジーへの改革について</p> <p>近年、ダイバーシティという言葉をよく耳にするようになりました。この言葉は、ダイバーシティ&インクルージョン（多様性と包摂）という多様性の受容を意味する概念として生まれた言葉と言われており、厳しい市場競争に勝ち抜くことを目指す民間企業とは異なり、地方自治体が、多様な人材によって構成されるメリットは何かと考えたとき、政策決定やサービス提供に多様な視点が入ることにより、それぞれの質が向上するものと思われまます。少子高齢化や技術革新などに伴って生じる数多くの未経験の課題を解決したり、多様化・複雑化している住民ニーズに対応したりするためには、本市の職場にも多様な視点や斬新な発想が求められるわけであり、市民の笑顔が見られることを目指さなければなりません。</p> <p>そこで、誰もが活躍できる組織づくりやAI、IoT（モノのインターネット）といったテクノロジーは驚異的な勢いで進化を遂げており、近年は民間企業に限らず、自治体においても技術革新の成果を取り入れており、本市はこれらを、今後どのように改革していくのかお尋ねいたします。</p> <p>(1) 多様な人材・多様な働き方の対策と課題について</p> <p>(2) 男女雇用機会均等の進捗状況について</p> <p>(3) 再任用等の職場環境整備について</p> <p>(4) 障がい者の雇用促進について</p> <p>(5) 誰もが活躍できる職場づくりについて</p> <p>(6) リモートアクセス環境の整備について</p> <p>(7) オンライン活用による新規就農者の呼び込みについて</p> <p>(8) 行政手続のオンライン化の導入について</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>2 日々の暮らしを守る防災対策について</p> <p>様々な災害が起きる昨今、日本中で防災・減災意識は高まっており、本市においても同様であります。非常時にしっかりと備え、住民の安心・安全をしっかりと守っていくことは、行政の使命だと言えます。ICTを活用した水害対策・浸水防止用施設の導入、LPガスエンジン発電機の設置といった新たな革新が求められます。これらの取組により、地域を守る体制の充実を図ることが必要であり、日頃からの準備が肝要と思われますので、今後の本市における対策についてお尋ねいたします。</p> <p>(1) ため池の水位監視システムの構築について</p> <p>(2) 水害に備えた庁舎内外における浸水防止用施設の導入について</p> <p>(3) 新たな情報セキュリティの強靱化対策について</p> <p>(4) 大規模災害に備える防災用発電機の設置について</p> <p>(5) 雨量観測器による地域防災の対策について</p>
9	7	渡部一樹	<p>1 農業の現状と今後の施策展開について</p> <p>(1) 本市農業の特徴を具体的な数値と共にお示しいただきたい。また、現状の課題について伺いたい。</p> <p>(2) 農林業ビジョンに示されている「若者の職業選択の対象」となるために必要な施策はどのようなものか見解を伺いたい。</p> <p>(3) ビジョンの中間年次見直しの視点と進め方について伺いたい。また、数値目標の達成状況について伺いたい。</p> <p>(4) 国などの施策変更に振り回されがちな米政策において、本市産の米については市場でどういった位置付けを目指すべきなのか見解を伺いたい。</p> <p>(5) 生産から販売、消費者ニーズなど農政に関する総合的な調査・研究をする組織体を作り、本市農業をリードしていくような存在が必要と考えるが見解を伺いたい。</p> <p>2 喜多方観光物産協会について</p> <p>(1) 協会の役割として「公的性格を持ち、民間で担うことの難しい低収益の分野を担うほか、一定の収益事業にも取り組む」としているが、その具体像について伺いたい。また、経営理念の一つである「地域商社機能」の内容について伺いたい。</p> <p>(2) 収益事業における販売総額の目標達成の前倒しについて見解を伺いたい。また、事業・収益事業と委託料収入、指定管理受託収入の割合はそれぞれどの程度見込んでいるのか伺いたい。</p> <p>(3) 喜多方市ふるさと振興株式会社とのすみ分けをどのような考え方で整理していくのか見解を伺いたい。</p>
10	1	矢吹哲哉	<p>1 在日米陸軍軍楽隊による日米音楽交流会と小中学校での交流事業について</p> <p>(1) これら一連の事業は日本国憲法第9条、教育基本法からみて容認できません。なぜきっぱり断らなかったのか。市長、教育長にそれぞれ伺う。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(2) 市民との国際交流は民間交流が基本。自主的、主体的な民間交流を原則とし、今後は米軍との「国際交流」はやめるべきと考える。市長、教育長の見解を伺う。</p> <p>2 非核平和のまち宣言に基づく施策の充実について</p> <p>(1) 8月6日、9日の原爆投下時刻に毎年鳴っていたサイレンが、今年鳴らなかった理由を伺う。 また、なぜ鳴らないことを事前に市民に周知しなかったのか伺う。</p> <p>(2) 来年度以降はどうするのか伺う。</p> <p>3 小中学校適正規模適正配置計画の進捗状況について</p> <p>(1) 上三宮小学校を小規模特認校とし、来年度スタートするとの方針にした理由を伺う。</p> <p>(2) 適正規模適正配置審議会での審議状況について</p> <p>ア 5つの論点の意見が出されているが、どのように事務局はまとめるのか。また、審議会にはまとめた案をいつ頃までに提示するのか。</p> <p>イ 10月以降に適正規模適正配置実施計画（素案）を提示し、住民説明会を行うとしたスケジュールは、いつ頃「素案」の提示となるのか。今後のスケジュールを伺う。</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症対策の現状と今後の予定について</p> <p>(1) 政府・県の現在の対策について伺う。</p> <p>ア 以下の4点に対する政府の対策について</p> <p>ア) ワクチン接種 イ) PCR検査 ウ) 医療体制強化 エ) 経済対策</p> <p>イ 以下の4点に対する県の対策について</p> <p>ア) ワクチン接種 イ) PCR検査 ウ) 医療体制強化 エ) 経済対策</p> <p>(2) 政府・県同様、以下の4点に対する現在の市独自の対策について伺う。</p> <p>ア ワクチン接種 イ PCR検査 ウ 医療体制強化 エ 経済対策</p> <p>(3) 今後の市の取組と財源確保をどうするのか伺う。</p>
11	6	小島 雄一	<p>1 鉄道問題について</p> <p>(1) 磐越西線会津若松駅喜多方駅間の非電化に対する市の対応について伺う。 JR東日本によって突然発表されたこの方針は、市の将来を担う</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>観光を主要な産業とするために、営々と努力を積み重ねてきた本市にとってひどい仕打ちだと言わざるを得ない。観光振興のため、今まで手を取りあって共に協力してきた友人が、コロナ禍の中でじっと忍耐している本市に対して、後ろから礫を投げられたような悲しみを覚える。アフターコロナのためにも、この方針の撤回を求めるものである。そこで以下の質問をする。</p> <p>ア これまでの経過と本市の対応を伺う。</p> <p>イ 本市だけでなく、全会津一体となった反対運動が必要と思うが、考えを伺う。</p> <p>(2) 首都直下型地震対策バックヤード構想に対する本市の考えを伺う。</p> <p>今後30年以内に70%の確率で首都圏で直下型地震が発生すると言われている。予想される避難者720万人の移動、水、食料、医療、復興資材の供給をどうするのか、今から準備しておかなければならない問題である。</p> <p>昨年11月13日、国会議員の有志によって、バックヤード構想推進研究会が発足し、国に対する提言を目的に活動しているそうである。そこで、新潟と郡山を結ぶ磐越西線や磐越自動車道の重要性がクローズアップされている。そこで以下の質問をする。</p> <p>ア この構想に対する本市の考えを伺う。</p> <p>イ 東北新幹線、上越新幹線をつなぐ磐越ミニ新幹線による環状新幹線構想が出ているようだが、本市の考えを伺う。</p> <p>ウ ミニ新幹線による経済効果、今までの国への要望等を伺う。</p> <p>2 旧塩川町別府工業団地について</p> <p>現在、別府工業団地の工場跡地の取り壊し作業が所有者によって行われている。来年2月までの更地化を目指しているようである。そこで以下の質問をする。</p> <p>(1) 更地化以降の業者の意図を把握しているか。また、工場誘致などに市はどのように協力するか伺う。</p> <p>(2) 地域未来投資促進法による区域指定を外して有効活用すべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>3 本市の農林業ビジョンの見直しについて</p> <p>2017年制定の農林業ビジョンは、本年で5年目になり、点検と評価による見直しをする計画となっている。そこで以下の質問をする。</p> <p>(1) 見直しのスケジュールを伺う。</p> <p>(2) 当初予定されていなかった「みどりの食料システム戦略」、「SDGs」、「コロナ禍によるグリーン・ツーリズムの停滞」などをどのように位置付けるのか伺う。</p>
12	5	上野利一郎	<p>1 建設発生土管理について</p> <p>今年7月に静岡県熱海市で発生した土砂災害は、20数名以上の人命を失う崩落事故となってしまった。大量の土石流をもたらした原因は、不適切に投棄された大量の建設発生土であったことから、人的責</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>任が問われようとしている。本市において、建設発生土の使用や処理が適切に行われているのか以下の4点について伺います。</p> <p>(1) 建設発生土について</p> <p>ア 建設発生土は、土砂の質の違いから、どのように分類されているのか伺います。</p> <p>イ 本市発注の建設工事における土砂利用と建設発生土発生のバランスについて伺います。</p> <p>(2) 建設発生土に関する規制について</p> <p>ア 本市において適用される既存法令等は、どのようなものがあるのか伺います。</p> <p>イ 規制区域や盛土等の許可対象規模、罰則規定について特に規制が厳しいものについて伺います。</p> <p>(3) 市内の建設発生土による崩落事案の有無について伺います。</p> <p>(4) 建設発生土の有効利用と排出を適切に行う取組等について伺います。</p> <p>2 観光施策について</p> <p>現在、国内は新型コロナウイルス感染の第5波の渦中であり、本市への誘客活動がほとんど行えない、閉塞的な状態が1年以上も続いています。そのような状況下でも、国内旅行やインバウンド需要が今後回復することを見据えて、「もっとゆっくり もっとじっくり もっと好きになるまち喜多方」を目指すため、今後準備・強化すべき点について、以下の4点について伺います。</p> <p>(1) 観光データについて</p> <p>ア 年間交流人口、市内宿泊施設利用者数、教育旅行及びグリーン・ツーリズム入り込み数、また市外からの交流人口による経済効果の推移について伺います。</p> <p>イ 日帰りと宿泊の平均市内消費額について伺います。</p> <p>ウ 市内平均滞在時間について伺います。</p> <p>(2) 滞在時間を延伸するための主な施策の柱について伺います。</p> <p>(3) 国内外への観光プロモーションの主な手法について伺います。</p> <p>(4) 全会津で連携して行う広域観光企画で、本市が担うべき役割と、それを実現するための課題について伺います。</p>
13	4	十二村秀孝	<p>1 需要に応じた米生産について</p> <p>令和3年度の稲作は、新型コロナウイルス禍の影響で米の消費も低迷し、大幅な非主食用米への転換を迫られました。こうした状況の下、様々な転作支援の結果、全国の令和3年産の主食用米の作付面積は、前年より6.5万ha程度が削減できる見込みとなり、米価の大幅な下落は回避できる見通しとなったと報道されております。そこで次の3点について伺います。</p> <p>(1) 令和3年産米について</p> <p>ア 令和3年産米の需要に応じた米生産の取組をどのように総括しているのか伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>イ 令和2年産米の平均相対取引価格の動向はどのように推移しているのか伺います。</p> <p>(2) 飼料用米について</p> <p>ア 令和3年産において、飼料用米に取り組んだ農家に対する最終的な10a当たりの交付単価はどの程度になる見込みか伺います。</p> <p>イ JAでは、飼料用米に取り組む農家に対し、交付金が交付されるまでの資金繰りを円滑に進めるため、「JA交付金等つなぎ資金」として飼料用米の作付面積に応じて10a当たり5万円を貸付けすることとしておりますが、詳細について伺います。</p> <p>ウ 会津若松市では、JA資金に対して利子助成を行い、実質的に無利子化とする予定であります。本市では、同様の取組を行う考えはあるのか伺います。</p> <p>(3) 令和4年産米について</p> <p>ア 令和4年産米の生産に対する基本姿勢について伺います。</p> <p>イ シンジェンタジャパン(株)では、稲作の省力化・低コスト化に向け、新たな直播向け種子「リゾケアXL」を開発し、令和4年度より本格販売を予定しております。こうした新技術の普及について、市の考えを伺います。</p> <p>2 市川市との相互交流協定について</p> <p>市川市との相互交流の一環として、平成31年4月から市立小中学校55校の生徒約32,000人に対し、喜多方地方の米を提供する取組が継続しております。そこで次の2点について伺います。</p> <p>(1) 市川市で年間360tの米が学校給食に使用されていますが、現在の状況について伺います。</p> <p>(2) 市川市との相互交流の取組は、コロナ禍により中止となっているかと思いますが、喜多方地方の米が学校給食で継続的に使用していただくためには、様々な分野での取組を通じて市川市民と相互交流を深めていくことが重要と考えますが、今後の具体的な進め方について伺います。</p> <p>3 獣害対策について</p> <p>本市において、いたるところで熊が出没している中、7月8日に松山小学校の校庭で目撃された熊が近くの元食品会社の建物に入り込んだ事案が発生しました。そこで次の4点について伺います。</p> <p>(1) 住宅地で熊が出没した際の対処方法について伺います。</p> <p>(2) 麻酔銃対処後の対処方法(放獣、駆除)について伺います。</p> <p>(3) 放獣時に発信機装着による行動追跡、住民への安全対策、生態分析などの取組はどのようになっているのか伺います。</p> <p>(4) 鳥獣被害対策実施隊の処遇について、現在の状況について伺います。</p>
14	18	伊藤弘明	<p>1 未来の喜多方市や会津のために、今やっておくべきこと</p> <p>(1) 基本的な考え方として、本市の行政の役割ということで言えば、</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>例えば50年後、100年後、そしてさらなる未来にまで、より良い喜多方市を残し、それを引き継いでいくという責任があると考えますが、当局はどう考えるか。</p> <p>(2) 人口減少に当たり本市において、移住・定住事業や移住支援金、移住者住宅取得事業補助金などの制度化を図っており、努力の跡を見ることができるが、今の規模では極めて不十分であると言わざるを得ない。この点についてどう考えるか。</p> <p>(3) 本市において、子供を産みやすい環境の整備や育てやすい環境の整備について、政策が薄いような気がしてならない。それらについてもっと具体的な政策を展開すべきと思うが、いかが考えるか。</p> <p>(4) 過疎に対する政策については、まず国が本気になって取り組む必要があると考える。過疎債の年度5,000億円の予算規模など甚だ中途半端なものであって、今後の国の浮沈をかけてやらねばならない覚悟が感じられない。全国的に関係自治体や関係団体と共に強く国に働きかけていくべきと考えるがどうか。</p> <p>(5) 会津という地域を考えてみても、今後ますます人口が減少していくのは明らかで、一部の地域はそのうち消滅してしまうだろう。国の考え方は、基本的には一極集中を是認しており、過疎対策にはそこからの政策の転換が必要である。地方に行けば素晴らしい生活が待っている、というような状況を作る政策が必要である。国がそういった政策を推進してくれるように、会津地区としてももっと強力に国に訴えかけていくべきだと考えるが、どのように考えるか。</p> <p>(6) 人口減少は、本市においても大きな課題であり、このままでいくと20年、30年のうちに地域によっては消滅してしまうところが出てくるものと考えられる。具体的に目標を設定して人口減少を少しでも食い止めていくべきだと考えるがどうか。</p> <p>(7) 本市でも荒廃農地や遊休農地が7%を超える状態だと聞く。後継者の減少などで、今後ますます増えていくことが予想されるが対策をどのように考えるのか。特に、災害防止の観点や熊、イノシシ、猿などの鳥獣対策についてどのように考えていくのか。</p>
15	9	菊地とも子	<p>1 誰一人取り残さない地域共生社会の構築について</p> <p>(1) 断らない包括的な伴走体制及び相談窓口について</p> <p>(2) 社会的孤立防止対策について</p> <p>(3) 生活支援支え合い会議について</p> <p>(4) 「生理の貧困」問題について</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症に係る経済対策について</p> <p>(1) 生活応援商品券及びプレミアム付商品券発行について</p> <p>(2) 観光振興について</p>
16	10	小林時夫	<p>1 防災・減災について</p> <p>(1) 土砂災害警戒区域について</p> <p>ア 土砂災害警戒区域の現状について</p> <p>イ 土砂災害ハザードマップについて</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(2) 災害時の応援協定について ア 災害時応援協定の現状について イ 今後の災害時応援協定について</p> <p>2 公共交通について (1) まちなか循環バスについて ア まちなか循環バスの実績及びこれまでの検証について イ まちなか循環バスの今後について (2) デマンド交通について ア デマンド交通の現状とこれまでの検証について イ デマンド交通の今後について</p>
17	8	蛭川 靖 弘	<p>1 事務事業のテレワーク推進状況について 昨年からの新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、政府ではテレワークを推進しており、民間だけでなく自治体に対しても7割の在宅ワークを求めている状況が続いている。 一方で、7月に調査され発表された情報によると、テレワークの実施率は20.4%にとどまっており、政府の要望には程遠い状況にとどまっている。 本市における昨年以降のテレワークの実施状況と今後の計画について伺う。 (1) 昨年以降、本庁及び支所間で行ったリモート会議の実施回数と、その必要数に対する実施数のパーセンテージを伺う。 また、今後のリモート会議の実施計画について伺う。 (2) 昨年以降、事務事業を在宅で行った職員の延べ日数と、全体におけるパーセンテージを伺う。 (3) 自治体におけるテレワークの実施については、主に情報セキュリティの確保、労務管理のルール整備等が課題とされているが、本市におけるテレワーク実施についての課題解決方法について伺う。 (4) 自治体におけるテレワークの実施については、そのセキュリティ対策について、DaaS（ダース：クラウド上のデスクトップ環境）が適しているとされており、本市では事務事業データのほとんどをアウトソーシングしていることから、DaaSの実現については他の市町村に比較して優位であると考えられるが、今後のDaaS等のセキュリティ対策が取られたリモートワーク環境の整備について伺う。 (5) 総務省では、令和2年12月に地方公共団体におけるテレワークの導入促進のための特別交付税措置を行い、令和3年度も継続しているが、この事業についての本市の取組状況について伺う。</p> <p>2 市民への回覧文書のデジタル化について 行政区における回覧文書は、コロナ禍において住民同士の接触機会を増加させることから、先進的な自治体ではデジタル回覧の取組をスタートしている。 そこで、本市の回覧文書のデジタル化について伺う。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(1) 本市のホームページでは令和3年7月1日から、広報等配布（回覧）文書のデジタル（PDF）閲覧が実施されているが、実施した背景と今後の目標について伺う。</p> <p>(2) 本市における回覧にかかる年間経費について伺う（仕分作業や行政区への委託費等）。</p> <p>(3) 回覧文書のデジタル化については、単に経費削減だけでなく、双方向の情報のやり取りや、閲覧の確認、未読者への通知など、より有益性の高い機能が期待できるが、本市のデジタル化について、今後の計画を伺う。</p>